

# 親子聖書日課

[日]キリストこそ「エッサイの根から出た一つの若枝」です。「その日(主の再臨)が来れば」正義が行われ、貧しい者が虐げられず、幼子は命が守られ、平和な国が実現します。「その日」に向かって、主にある平和(十字架の救い)を伝えましょう。

[月]泉から水を汲むには、桶が必要です。この桶こそ信仰です。目の前に「救いの泉」があり、喉が渇いても、信仰がなければ、命の水を飲むことはできません。「喜びの内に」主の救いを頂く信仰が全ての人に起こされるよう、祈りましょう。

[火]バビロンに対する主の裁きは、世界の終わりの最後の審判を表します。主に対する不信、傲慢は必ず、裁かれます。その時、もう悔い改めても遅いのです。「見よ、主の日が来る」のですから、明日でなく今日、悔い改め、主に従いましょう。

[水]「明けの明星」とは、バビロンであり、サタンのことです。サタンは元々、天使でしたが、神になろうとして陰府に落とされ、「墮落した天使」になりました。自分がしたいように生きる時、自分が神になるのです。ですから、常に主の前にへりくだりましょう。

[木]人間の計ることは実現しないことが多いですが、主が「計ることは必ず成り、定ることは必ず、実現する」のです。その約束を信じて生きることが信仰生活です。「シオンの基を据えられたのは主である」と確信し、人に頼らず、主に頼りましょう。

[金]モアブの滅びは、その傲慢さに原因があり、当時の王座は、権力と残虐さの上に立っていました。しかし「慈しみをもって立てられる」王座があります。心の王座を主に明け渡す(救い主を信じる)時、まことと正義に溢れ、平安が与えられます。



[土]神の民も「神を忘れ去り」ました。主を忘れると、自己中心になり、心は砂漠のようになります。その反対に、主に心を留めると、心は満たされ、神中心になります。この世のことは忘れても、主のことだけは忘れないよう、御言葉に聴従しましょう。

NO.1422 2015.12/27-2016.1/2 名前

	聖書	問題	答え
日	イザヤ 11:1-16	エッサイの根から何が育ちますか。	
月	12:1-6	あなたがたは喜びのうちに何から水を汲みますか。	
火	13:1-22	泣き叫べ、どんな日が近づいていますか。	
水	14:1-23	ああ、お前は天から落ちた、何の星ですか。	
木	14:24-15:9	わたしの計ることは必ず、どうなりますか。	
金	16:1-14	王座が何をもって立てられましたか。	
土	17:1-14	お前は救い主である神をどうしましたか。	
感想と祈りの課題			